

# かわちのタイムス

2015.12.1発行 No. 18

かわちの社労士事務所

社会保険労務士 喜多裕明

〒577-0012 東大阪市長田東 2-3-22-601

T)06-6785-7133 F)06-6785-7133

E-mail: info@kawachino.org

URL: http://kawachino.org

メンドくさい

ようわからん

## 給与計算はお任せ下さい!

### ★こんなとき、アウトソーシングを

1. 社長が給与計算に手を取られていて、本業に専念できない
2. 給与計算を任せられる社員がいない(他の社員の給与を知られたくない)
3. マイナンバーの管理が気にかかる

### ★かわちの社労士はこう考え、実行します

1. 給与計算を正しくおこなうには、労働法と社会保険の知識が欠かせません。
2. 給与計算を通して、会社の人事・労務の課題が見え、様々なご提案が可能になります。
3. 当事務所は、顧問報酬の中に給与計算を組み込むことで、お得な報酬体系を備えています。

### ★お客様のご要望にお応えします

- ・タイムカードから扱います。
- ・給与明細書の封入もできます。
- ・年末調整もご相談の上、お応えします。

### ストレスチェックのステップ

- ①労働者が質問票に記入して実施。その結果を評価
- ②チェック実施者が受験労働者に個別結果を通知
- ③医師の面接指導の必要な労働者の申出による、面接指導の実施。医師の意見を勘案した措置の実施
- ④ストレスチェックの結果を用いた職場環境の評価
- ⑤チェック実施者による事業者への評価結果の報告
- ⑥報告を勘案した職場環境の改善

## ストレスチェック制度がスタート

## 職場のメンタルヘルスを考える

労働者のメンタルヘルス不調の1次予防を目的として、ストレスチェック制度がスタートします。

### ◆メンタルヘルスの現状は

「精神障害の労災件数」が増加しています。平成26年度の請求件数1456件、決定件数497件はともに過去最多です。

職種別では、専門的・技術

的職業、事務、サービス業の順に多く、ストレスの溜りやすい仕事内容が想像されます。

年齢別では、働き盛りの40

代が一番多く、30歳代、20

代とつづきます。労働の質と量が労働者のストレスに大

きく影響しているのです。

当事務所が今年請求した精神の障害年金は、2件とも職

場の「いじめ」が発病につながったもので、労災の請求をすれば、業務上が認定された

場合の「いじめ」が発病につながったもので、労災の請求をすれば、業務上が認定された

かもしられなかったケースです。

◆中小企業には負担増に

対応(3次予防)ではなく、未然防止(1次予防)です。さらに、労働者自身のストレスへの気付きを促すこと、職場環境の改善につなげることも目的となります。

労働請求を減らすためには、

◆中小企業には負担増に

ストレスチェックは産業医・衛生管理者が選任され、衛生委員会が設置されている事業場で実施することが大前提です。



用したいものです。

かわちの社労士事務所

(今年も重大ニュースではありません)

## 発表!! 2015年の10大ニュース

1. 小規模保育施設選定に合格 … 応援してきた複数の認可外保育所が認可園になりました
2. 障害年金請求にとりくむ … 障害年金請求代行にとりくみ、精神・身体の3件を申請
3. 介護職員処遇改善加算を探究 … 新設された加算Iのキャリアパス要件の整備が課題です
4. 特定社会保険労務士に合格 … 紛争解決代理業務に社会保険労務士としてとりくみます
5. ホームページから問合せ増える … 選ばれている理由は「近い」「料金が手頃」が大半です
6. 3年越しのお客様から依頼 … 開業以来訪問を続けてきた社長さんが、ついにお客様に
7. 労働保険事務組合の加入すむ … 建設業はじめ、製造業・サービス業の加入もありました
8. 電子申請へ、一歩を踏み出す … 電子申請に対応できる事務処理の範囲を広げていきます
9. 自主研究会の代表幹事に就任 … 大阪社労士会の安全衛生自主研究会の「雑用主任」です
10. 胃の調子改善で体重オーバー … 胃カメラで分かったピロリ菌治療が成功したのですが…

だから映画はおもしろい

vol.15

## 原節子さん 追悼

小津安二郎監督・「紀子3部作」

(1949・51・53年)

●原節子さんの訃報に接し、急遽予定稿を差し替えました。「昭和の大女優」といっても、昭和37年に引退された原節子さんとはスクリーンの中でのかええませんでした。

●今年4〜6月に「銀幕デビュー」から80年 女優 原節子のすべて―特集上映があり、小津監督作品6本を含む12本を鑑賞したばかりでした。

やはり何度見ても見飽きないのが、「紀子3部作」です。

●『晩春』(49年)は父子家庭の娘・紀子が父を気遣って結婚をためらいます。父娘の京

都旅行の夜、父(3部作とも笠智衆)に説得されて、ようやく結婚を決意する娘。この映画を見るたび、娘には余り早く大きくなってほしくないと思つたものです。

●『麦秋』(51年)は適齢期(今や死語)を過ぎた娘・紀子に対し、何と高校時代の友人(佐野周二)の母親(杉村春子)がプロポーズします。

このくだりは、『釣りバカ日誌15』(04年)に再現されていて、江角マキコ・寛利夫・吉行和子が演じています。多くの映画人が小津監督の作品を愛し、学んでいるのです。

●『東京物語』(53年)は、世界映画史上ベスト・ワンに選ばれた、小津監督、原節子の二人にとっても最高傑作です。

この作品については、本連載の第1回『東京家族』の中で合わせて紹介しています。

●3部作を通して、原節子の輝くような美しさは、その内面からにもじみ出ていると感じさせます。その美しさを

## 編集後記

▼8月11日が赤字になった来年のカレンダー。「山の目」は労働時間短縮や消費の拡大に寄与するでしょうか。新年早々からの通常国会で、労働時間法制が審議されます。

▼事務所移転から1年、年末には開業以来3年となります。「生活」と「夢」の両方を追求し、一歩ずつ進んできました。まだまだ立ち止まるわけにはいきません。

もっとも引き出したのが小津監督だったのでしよう。

『晩春』『麦秋』はキネマ旬報ベストテン第1位ですが、『東京物語』は第2位でした。その年の1位は『にごりえ』(今井正監督)、3位は『雨月物語』(溝口健二監督)です。

まさに日本映画の黄金時代。その時代に輝き、その時代と共に去つた原節子は「伝説の女優」となったのです。